

みなさん、こんにちは

前回のレポートをお送りしてから、議会や町ではいくつかの動きがありました。また、私の生活にもいろいろあり、相変わらずバタバタとした毎日です。

12月議会から新年度予算を審議した3月議会までの動きについて、その経過、結果、そして桜井の考えなども交えてご報告します。

(バタバタのために発行が遅れました。ごめんなさい)

文中の誤字脱字については、お許してください。あらかじめごめんなさい。



吹雪や暴風雨で、停電の備えを意識するようになりました。我が家に古くからあるランプも先日、芯を新規購入しました。灯油で明るくともります。出番のないことが一番ですが、最近古いものが役に立ちます。

ゴミ処理場のその後 そして これから



これまでも何度か、このレポートで報告してきたゴミ処理場の問題ですが、特別委員会も設置され調査を重ね、行政とも質疑を繰り返してきました。1月28日の臨時議会で今後の対応についての予算が可決されました。

- ・病院バイオボイラーは当初計画ではなく、燃料比率を7：3もしくは6：4で生成物燃料を使用。
- ・生ごみ堆肥化施設に新しいバイオボイラーを設置して、施設の加温、多肥化に温風送付、他施設にも熱供給を行う。

この追加施設で、これまで余ってきた生成物燃料を利用できることになったのですが・・・。

これで貯まっていた生成物燃料が減って行くわけではなく、今までのようにドンドン堆積することにはならないけれど、そこは、どうするのか？

- ・なぜ、そういう計画になったのか～新しく設置予定のボイラーよりも大きなものの検討もありましたが、現在施設で使っている既存ボイラーと同じものにしました。それよりも大きな熱量のボイラーでは稼動にも管理にもリスクがあるため。(部品交換なども兼用できないし・・・など)
- ・では、どうするの？～ゴミの減量をさらに進め、リサイクル率を高めて行く。処理量が減れば生成物も減るわけですが、さらにそれだけでは解決できず、生成物燃料の利用先をこれからも探して行くことになります。

では、新しい施設設置にいくらかかるか？新しいボイラー、必要な配管などで3億円くらいかかります。なるべくこの経費をかけないための取り組みも行われますが、高額です。

仕方ないとは言え、現状では止むを得ない対応と思います。この資金は国の交付金で対応しますが、こんな問題にならなかつたら、他の何かに使えたのに、とは思います。

新たな生成物燃料の利用先の確保。みなさんも情報などありましたら、ぜひ寄せてほしいと思います。

燃料効率はかなり良いそうで、それゆえに余る燃料も増えているのが現状です。なんとかしなくては！



まだ、解決できていない他のゴミ処理施設は？



最終処分場・・・この施設は、大きなプールのような施設です。最終処分場なので底の方から水が浸透することはありません。なので、雨や雪が貯まっていきます。今回のように大雪が続いたり大雨が続くと、計画の雨量以上となってまた、貯まりまです。町中に積み上げられた雪を見ると、本当に心配です。この問題の解決策は、現状の対応で減っていくのを待つ状態。大丈夫でしょうか？

一般ゴミの処理・・・分別はしっかり徹底しましょう！たとえば、アルミ箔。先日も議場のある3階のゴミ箱にアルミ箔が一般ゴミで捨てられていました。アルミ箔は燃えないゴミです。まだまだ、分別をしっかり理解されていない人も多いようです。気をつけましょう！大丈夫ですか？みなさんのお宅のゴミ箱！

だからこそ、みんなでゴミ減量！



今回の議会ではこんなこと、こんな内容について質問しました。思いました。

町の総合計画の策定審議と自然大学構想のこと

町民のみなさんと町の職員で構成された策定委員会で作られた計画を現在、議会で審議しています。その中で、自然大学構想を新しい計画に盛り込むべきとの意見が出ています。これまでの町の計画に載ってきて何年も過ぎて、一定の方向性を2年ほど前に示され、今回の計画には掲載しなかったものです。現在は民間団体が設立に向けて活動をされています。

私は、この大学設立構想について今後、民間が実施して行く中で必要となれば、町の対応をしっかりと検討すべきと思っています。

しかし、これまでも計画に載ってきているのだから、継続して掲載すべきとか、何らかの形で掲載しておいてあげるべき、という意見には反対です。町民参加で行政と一緒に策定された計画です。

計画の見直し、あるいは断念する決断も必要だと思います。

先日、特別委員会で大学構想を進めていらっしゃる方お二人を参考人として、お話を伺い、計画的に進められていることが理解できました。ここまで、しっかりと動いているのであれば、なおさら、町の計画にこだわらず、町との協力体制を構築して推進されるほうが良いのではないかと思います。他の議員さんからも「町が取り組むべき課題ではないが」との意見も出ていました。

介護施設の人手不足と新しい特別養護老人ホーム

今年オープン予定の特別養護老人ホーム「えみある」の利用は、体制を整えて順次サービスが始まります。しかし、以前からの施設「やすらぎ」では介護者の不足から100%の利用ができていません。町として必要な施設として、建設費の補助、運営の補助などを行っていますが、人員確保についても事業者と一緒に解決に向けて取り組んでいかななくてはなりません。

人材不足は切実な問題です。働きたい職場、住みたい町づくりが求められていると思います。

図書館が新しくなることで！

来年の4月オープンに向けて工事が始まります。

建物が新しくなるだけでなく、これまで以上に図書館としての役割は重要になってきます。

そんな中、子供たち、あるいは幼児の時期からしっかりと読書の習慣をつける取り組みが必要です。これからも、学校図書活動のための巡回司書の配置、あるいは現在実施されているブックスタートなど、ソフト面の取り組みも大切です。

本に親しむためには様々なきっかけと環境が必要です



戸籍がデジタル化されます これまでのタイプライターで打ち込まれた紙ではなく、デジタルデータとして保存されます。同時に、行政のシステムが自治体クラウドとして運用が行われるようになります。時代の流れですが、私はより専門的な情報管理者の配置が今後、必要ではないかと思います。

子宮頸がんワクチンの実施について 接種にあたって不安が広がっています。斜里町の場合は、まず、一点は担当する旭川医大の先生の対応、説明が保護者の方と良い形で連携を取られていること、二点目は、納得ができない時は辞退することも可能なこと、三点目は常に新しい情報や状況を見据えて担当の医師と情報交換をおこなっていることなどを確認できました。対象となる方との情報のやり取りをしっかりと取りながら接種に臨んでほしいと思います。

消費者協会の活動 地域の人たちと生活を通じてつながりを持つ組織です。ぜひ、これからも充実した活動を続けて欲しいと思います。

カムイワッカの利用 昨年同様ですが、今年度は人の配置はせずに、登山道利用の入山許可の記載をして利用できるそうです。



歩道の中に電柱！冬は特に危ないですね 最近は冬でも健康のためにウォーキングをされている人を見かけます。そして、冬道の通学。歩道内にある電柱は除雪の時にはとても障がいになり、そして、雪が残ります。それが溶けて凍ったり、見通しが悪かったり、非常に危険。その、対応について質問しましたが、順次改善していくとのことでした。

そして、議会の動きです！議会もドンドン変わる！

議会中継や、一般質問の一問一答など議会がわかりやすくオープンになってきています。現在は、議会報告会、議会の災害対応の体制作りなどが検討されています。議会が何をやっているのかわからない、が過去の言葉となるよう日々、変わっている議会です。



報告会は希望開催にも対応可能です！！



全体を通して総括質問 (予算の細かなことではなく全体的な部分の考え方などの質疑です)

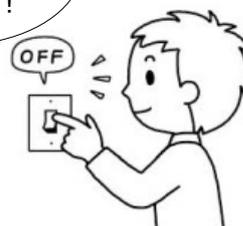
●観光振興計画の策定が行われていますが、すでに知床観光は大きな市場を持った商品であり、揺るぎない観光産業が存在しています。

その、観光をさらに町として持続可能な産業として、他の産業とつながりを強化して行くためにも、新しい基盤を構築して行くためにも、ぜひ、プロのアドバイザーを導入して行くことが必要ではないかと。市場と流通、そして地域づくりの視点から、専門家の力と存在が、今の斜里町の観光振興計画には必要だと思います。

●学校の統廃合などが進んで行く中、地域の培ってきた行事、伝承などについては社会教育として力をいれて取り組むべきではないかと思います。学校を中心とした地域活動だけではなく、地域としての力を持続する仕掛けが町として必要ではないでしょうか？

●町が取り組む事業の成果を、町民に「見える化」として実施することで、町民生活に身近で、その事業を実感でき、それが協働や住民参加の町政につながるのではないのでしょうか？たとえば、省電力を意識した事業、あるいは太陽光発電事業。成果としては小さな数値かもしれませんが、設置した方の感想など「どうだった？」という視点を持って広がりや啓蒙普及を図る「見える化」は大事。

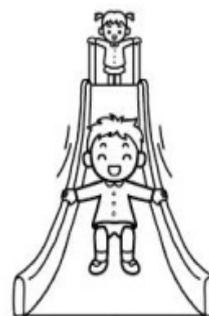
やったことの
結果は励みに
もなるから！



3月議会での一般質問

1・ウトロに遊具を設置した児童公園を作ってください

これまで何年もウトロには遊具の設置された公園はありません。幼児期の体力作り、保護者の交流含めて場の設置は必要です。過去にもいくつかの場所が話題に上がりましたが、気軽に安全に目の届く場所に、という声が多くなっています。広さは求められなくても使いやすさ、安全という点で地域と協議を重ねて実現してほしいと思います。(前向きな回答がありました。)



2・街の中の除雪で快適で安全な冬の生活をめざしては

現場では限られた予算ですが、特に市街地の状態は大変不便さを感じ、なおかつ、不安な日常生活となっています。住民との協働を念頭に起きながら取り組むべき課題だと思います。ぜひ、地域のつながり、地元事業者、行政の調整力を関連させた取り組みを早く実施しては？(必要性は理解しているとのこと)

3・町の短期臨時職員の待遇、雇用の改善をするべきではないですか？

これまでも何度か、待遇改善について質問してきました。職員だけではできない業務を臨時職員に頼る現状、雇われる側の都合もあります。人材は町の資源と考えなくてはならない大切な問題です。人材のスキルアップもままならない待遇を改善して、働く環境を町としてアップして行くことが必要ではないでしょうか？短期臨時で生計を立てていく人も多くいます。人材は町の資源と考えて取り組んで行かなくては、町全体の人材確保にもつながります。(引き続き検討とのこと。)

4・学校図書機能の充実には司書の配置が必要

新しい図書館の運営に向けて、そして学力向上対策を全面に動き出しています。子どもたちの読書離れは学力にも大きく関係しますし、読書環境は子どもの成長にとっても大切なことです。この、時期にだからこそ、学校図書の動きをしっかりさせ図書館と学校が連携を図って取り組むべき時だと思うのですが、学校図書の司書(巡回司書)

の配置を早急に検討すべきでは？
(今後の計画の中で検討して行く、とのこと。)

！
議会での質問は、何を聞いても、何を言っても良いというものではありません。議案の内容に関係すること以外は認められていません。でも、一般質問は、議案に関係なく質問することができます。場です。



さて、私ごとと、その状態で思ったこと。

12月議会では実家の母が骨折して介護保険の申請などに奔走しました。おかげさまで、リハビリの訓練成果で、骨折前の状態に回復しました。ところが1月下旬、二人目を妊娠した娘の体調が思わしくなく、絶対安静。2月11日より2歳

6ヶ月になる孫を、神戸より連れて帰って来ました。現在も、小さな人との生活が続いています。議会中は実家の母が(ひ孫です!)助っ人で来てくれたり、地域のみなさんの協力をいただき、なんとかかやってきました。今月末には両親の元へ送って行けたらと、思っています。

かあちゃんとの約束を守って「大丈夫」と涙ぐみながらもしっかり過ごしている姿を見ると、子供ってすごいなあと、学ぶことの多い「思いがけない時間」となっています。(それにしても夜中に何度もキックされます・・・)

*ここでお知らせできることの他にたくさんいろいろなことがあります。また、こうしてお便りを読みたい方がいらっしゃいましたら、送りますから、お気軽にどうぞ！声かけを。



ツイッターやフェイスブックをやっています。興味のある方は、是非、参加してみてください。いろんな考え方があって楽しいですよ。*メールを送って戴くときにはお名前、連絡先を書いてください。お願いします。

■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ